

やんちゃ坊主たち

輸送ストレス、コクシジウム症、去勢手術、梅雨などがあってなかなか思うような増体が見られなかった子山羊たちですが、夏が来てから毛ツヤも良くなり、すくすく成長を続けています。8月3日から4週間の一日平均増体量は、③シャーを除いて121～139gです。ここで一匹だけ成長が滞っているシャーを救出すべく、また同時にチモシーの茎を残す癖を直すために、8月28日(月)に組み替えを行いました。

シャーと一緒にの房の④ペイは、4頭の中でも一番大きくて力も強いので、シャーは食い負けしているとも考えられます。別の房の①トンは、負けん気も強くて②ナンが食べようとするのを邪魔したりするので、トンとペイと一緒にの房に、ナンとシャーと一緒にの房に、と組み合わせを替えることにしました。

組み替えをすると、たいてい頭突きのけんかをするので、少し注意が必要です。今回も組み替え直後にナンとシャーが向かい合って後肢で立ち上がり、お互いの角の部分を「ゴチ〜」と何度か突き合わせていました。試しに少し粗飼料を与えると、何事もなかったかのように、皆一斉に食べ始めたので一安心して、飼育棟を後にしました。

畑のその後

僕はこの前に種まきをした時にはいなかったんですが、畜舎に行くときにちよちよ畑を見て雑草だらけやなぁと思ってました。今回、雑草の駆除ということでかなり大変な作業になるだろうと思いつつ、畑に行くとき市君が「ビール買って来ました〜」と一言。打ち上げに飲むのだろうと見ていると長命さん、塚本さんらが早くも飲み始めましたね。まあ、作業もぼちぼちやり始めたんですが、雑草は逞しく育っているのに肝心の作物は弱々しく、あまり育ってなかったですね。植えた時期が遅かったのが悪かったのか、ちゃんと水遣りをせずに放置していたのが悪かったのか、思い当たる節はたくさんあるのですが…。今回は手伝いに来てくれた人がたくさんいたので、当初思っていたよりも随分早く終わりました(1時間もかからな

それから1時間ほど経って、飼育担当の松平さんから熊谷先生に「山羊が血だらけになっている!」という連絡があったそうです。飼育棟へ駆けつけてみると、そこには頭を洗われて、イソジンを吹きかけられたトンとペイが…。先に飼育棟に到着した熊谷先生とフランスさんが血みどろになったトンの頭を洗って、消毒してくれたそうです。ただ、傷はたいしたことなく、角同士がぶつかってちょっと切れたようでした。ペイに傷はなく、返り血を浴びただけのようでした。

さて、翌日畜舎を訪れると、昨日のけんかで決着がついたのか4頭とも平和な顔をしていました。



平和顔のトンちゃん

かったかな)。でも周りの立派な畑に比べると、やはり僕等の畑はかなり貧相ですね(比べること自体が失礼ですけど)。これはもう来年に期待するしかない…。かな?とにかく、雑草拔きに手伝いに来てくれた皆さんお疲れ様でした! (西尾)



目次:

腰麻痺について 2

地下室に1週間お世話になりました 2

出張研究 2

緊急インタビュー
新メンバー紹介 3

8月の子山羊の体重 3

飼育当番表 4

鴨川デルタ花火大会 & BBQ 4

最近めっきり暗くなるのが早くなりましたが、まだまだ暑いですね。今年は残暑が例年以上に厳しいようです。今日、客員教授のアレックスさんから『日本の夏はいつ終わるんだ?』と聞かれました。ごもつとも…。春の日照不足は一転、夏の好天で今度は冬の野菜不足が懸念されるそうです。こんな暑さの中でも子山羊たちは元気にすくすく育っています。

速報

8月30～31日に大阪府立大学で開催された第56回関西畜産学会において、畜産資源学研究室から博士課程3回の長命さんが発表をされました。テーマは、『乳牛と肉牛の窒素摂取量と窒素排泄量の関係』でした。

出張報告

8月3～5日まで、島根県へ行ってきました。今回の主目的は、広島大学の4年生、井出君の研究のお手伝いということで、内容はコードラート法を用いた放牧地の植生調査でした。調査を行ったのは3件の牧場の全26区画で、牧草の種類、被度、最高長、群度を計測してきました。炎天下の中、沼地にはまったり、小川に落ちこちたり蚊に刺されたり・・・大変でしたが、その分仕事のあとのビールが美味しかったです。調査の後、先日のシステム研究会で講演された松永氏の松永牧場を訪ねました。松永牧場は、大規模なフィードロットで、5000頭余りの牛が飼育されていました。ここで飼育された牛は「まつなが牛」というブランドで市場に出回っています。子牛はロボット哺乳されていて、ロボットの前に長蛇の列を作っていました。大規模牧場なのに糞尿の臭いもほとんどなく堆肥化されていました。いまどきの儲かる牧場経営の一例だと思いました。(西尾・塚原)



松永牧場の牛・うし・ウシ

松永牧場HP

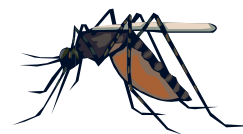
<http://www.iwami.or.jp/matunaga/>

腰麻痺について

飼育当番表を見ると、隔週木曜日に『予防注射』の文字があります。もうすでに体験済みの方もいらっしゃると思いますが、「どんな病気の予防注射なの?」という疑問に今回はお答えしましょう。

この注射は、腰麻痺予防の注射です。『腰麻痺』は正式には脳脊髄糸状虫症といい、山羊や羊に特有の病気で、糸状虫(フィラリア)が寄生することにより運動障害、後肢麻痺(引きずり)、起立不能などの症状を発症させます。犬のフィラリアと同じように、蚊が感染の媒介をします(ただし犬に問題を起こすフィラリアとは種類が違います)。この糸状虫は、ふだん牛に寄生していますが、牛にはあまり悪さをしません。寄生主(牛)の血液中には糸状虫の子虫がたくさんいて、蚊が牛を刺すときに血液と一緒に子虫を吸い上げます。この蚊が次に山羊や羊を刺すとき、今度は子虫を吐き出して感染させます。つまり蚊が媒介しますから、予防注射が必要となるのは蚊が発生する夏の間で、近くに牛がいる環境ということになります。蚊の少ない北海道ではほとんど発生がないそうです。また一般的に在来種には発症しにくいといわれています。

感染した山羊が必ず症状を表すかというところでもなくて、症状の現れ方もまちまちです(感染しているかどうかは血液検査でわかります)。症状が現れるとき



は、多くの場合後肢をわずかに引きずるところから始まります。このときに投薬治療を始めると完治することが多いようです。もう少し症状が進んでしまうと予後不良となったり、すでに血液中に大量の糸状虫がすでにいる場合には、投薬を行った時点で死んだ糸状虫が血管をふさぎ、山羊がショック死することもあります。また投薬しても症状が改善されない場合があり、この場合、神経が侵されるため運動障害や麻痺の症状は進行しますが最後まで食欲は落ちず悲劇的です。ということで、予防するのが最善策なのです。

現在使用しているスバトニンという注射薬の主成分はクエン酸ジエチルカルバマジンで、腰麻痺の予防・治療薬です(治療に用いる場合は高濃度で連日注射します)。体重1kgあたり20mgを皮下注射します。腰麻痺予防の薬は、スバトニンのほかアンチリコン(グルコン酸アンチモンナトリウム)やアイボメック(イベルメクチン)が知られています。

更に詳しく調べたい方は、「シーブジャパン」1992年4月号に家畜改良センター岩手牧場で当時衛生課長をされていた白戸綾子先生の記事が載っています。畜産技術協会のHPからも飛べます。

http://jlta.lin.go.jp/book/sheep/kiji/02_03.html

地下室に1週間お世話になりました・・・。

8月10日(木)～16日(水)まで、広島大学の馬場さんが当研究室で実験されました。8月10日にゼミで研究内容『発酵副生物の利用が反芻家畜のルーメン発酵に及ぼす影響』の発表もありました。そんな馬場さんから自己紹介とコメントを戴きました。

馬場絵里奈(^_^)です。

広島大学大学院国際協力研究科

博士課程前期2年

〔京大にきた目的〕ガスクロ分析実験のため。羊のルーメン液の分析。核酸の飼料添加物実験をやっています。地下室に1週間お世話になりました・・・。

〔研究室について〕学生が多くて賑やかでうらやましいなと思いました! いろんなキャラがいて楽

しいですね(笑) 皆さん気さくに話して下さる方なので、すぐ仲良くなりました。ご飯にいたり飲みに行ったり、いい1週間でした♪



〔京都について〕暑い\$蚊がでかいっっ!!夏の京都は要注意だと感じました(汗) おいしいものはたくさんありますね～。おばんざい、地ビール、うまかったばい。

〔これから・・・〕また分析の続きで京大に来るので、よろしくお願いします(笑) 広島土産のご要望、承りますヨ!

BWANJI!!

今回のインタビューは、今月から畜産資源研究室で一緒に研究をすることになった留学生のフランシスさんをご紹介します。

フランシスさんは、本名をFrancisco Kanyinji といい、ザンビアの首都ルサカ出身です。祖国ではザンビア大学を卒業後、Natural Resources Development Collegeの講師をしていましたが、日本の文部科学省研究者招聘事業に応募し、去年の4月より広島大学国際協力研究科に所属しています。現在は修士2回生(M2)です。研究内容は、食品加工場から出る副産物を飼料化するための核酸分析ということで、前頁の馬場さんの後任として研究を引き継ぐそうです。つまり、我が畜産資源学研究室では、来年の9月までの1年間の予定でガスクロ分析実験を行う予定です。

さて、せっかくの機会なのでフランシスさんのプライベートライフについても伺いました。

-When is your birthday?

Francis-Twelve December.

-What year?

Francis- Long time ago. (hehehe)

-Tell me about your family.

Francis-Yes, I have a family with two daughters.

-And ONE wife?

Francis- (Laugh) Yes, I know what Japanese like to ask us. I have only ONE wife and two kids....

というわけで楽しいインタビューは、食べ物に移りました。フランシスさんはなんとベジタリアン。宗教上の理由ではないのですが、来日してからお肉が食べられなくなったそうです。またカフェインを摂ると心臓がどきどきするそうで、コーヒーも紅茶も飲みません。アルコールは以ての

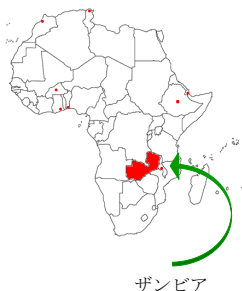


E-405で机に向かうフランシスさん

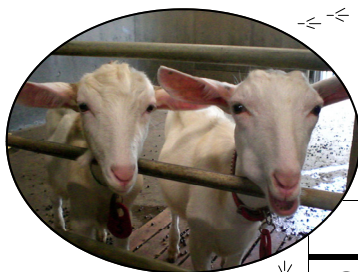
外です。(^^;)魚も苦手。野菜、豆、卵は大丈夫。Nutrelaというベジミート(大豆グルテン)は欠かせない食材で、京都ではなかなか入手しにくいので、東京から取り寄せているそうですよ。日本食で好きなのは、お好み焼きと焼きそば、そして男前豆腐だそうです。大学の近くにもたくさんお好み焼のお店があるようですから、是非みんなで行きましょう。そんなお茶目なフランシスさんに今度は日本の好きなどころと嫌いなどころを聞いてみました。曰く、日本で素晴らしいのは、人々がお互いに礼儀をわきまえて接しているところだそうです。たとえ友人同士でも礼儀があって、そこはザンビアとの大きな違いだそうです。その反面、みんながよそよそしくて、なかなか打ち解けにくいところが日本の生活で困ってしまうところだそうです。今は一人暮らしをしているので、余計に寂しく感じやすいですよ。皆さん、どんどんフランシスさんを誘ってあげましょう。ただし、カラオケやパチンコなどのギャンブルは嫌いだそうです。

最後に、祖国ザンビアのアピールをしてもらいました。ザンビアというと、平均余命が短い(38歳)事や、貧困のイメージがどうしても先に来ますが、ザンビアの本当の姿は、①戦争を起こしたことがない平和な国で、②19もの国立公園があり自然や野生動物が豊か、③世界3大瀑布ビクトリア滝があり、④そこに住む人々は、とても親切(説くに外国人に対して)なんだそうですよ。

注)タイトルのBWANJIは、「こんにちは」「始めまして」などを表すザンビア語です。



ザンビア



8月の子山羊の体重

子山羊たちは生後6ヶ月になりました。

	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31
① トン	25.6	26.0	27.2	28.4	29.2
② ナン	25.3	26.9	27.0	29.4	29.2
③ シャー	27.9	28.0	28.4	27.6	28.4
④ ペイ	30.6	31.5	31.6	33.3	34.0

小
小
小
小
小
小
小
小
小
小
小

お知らせ

飼育当番表 2006年 9月

日	月	火	水	木	金	土
8/27 塚原・西尾	28	29	30	31 塚原・椎野 体重測定・予防注射	9/1	2 田端・椎野
3 田端・椎野	4	5	6	7 熊谷・菊原 体重測定	8	9 熊谷・菊原
10 熊谷・菊原	11	12	13	14 長命・金島 体重測定・予防注射	15	16 長命・金島
17 長命・金島	18 敬老の日	19	20	21 大石・塚原 体重測定	22	23 秋分の日 大石・塚原
24 大石・塚原	25	26	27	28 熊谷・上原 体重測定・予防注射	29	30 熊谷・上原

応用生物系ソフトボール 結果は如何に!?

8月7日(月)に応用生物系ソフトボール大会最終試合の『病理VS動物』の試合が行われました。結果は1回コールドで病理6-5の勝利、つまり我々動物系チームは最終試合で負けしてしまいました。2回表のサードライナーにより動物系キャプテンが負傷、試合続行不可能となってしまったのです。ただ主催者サイドより、「このまま大会終了とするにはあまりにも後味の悪い結末」ということで、9月に上位3チーム(海微、動物、病理)によるプレーオフの開催が予定されています。ということで、まだまだ続く…

Laboratory of Animal Husbandry Resources

今月のお誕生日さん

今月お誕生日を迎えるのは、長命さん(9月10日)です。お誕生日会の日程については、後日連絡します。



鴨川デルタ花火大会&BBQ

去る8月7日、京大生のくつろぎの間「鴨川デルタ」にて、BBQ&花火大会が行なわれました☆

研究室から現地まで食材や備品等を運んでいくとそこには警官らしき人が十人程…えっ?なんでも?もしやここでBBQできないの〜?!

引き返そうとしたときなんとそこへヘリが飛んできて人を乗せてどこかへ飛んでいきました。目の前でのヘリの離着陸は迫力ありました。

さて本題に入りますと、前日に買出しを済ませて気分十分に臨んだバーベキューでしたが、いざ始めようすると忘れ物がいっぱい…(ToT)皆様、ご迷惑をお掛けいたしました。なんとか必要なものを揃え、火を起こして、ねぎ身串、ウインナー、野菜たち、肉たち、とうもろこし、焼きそば、それと秋刀魚! おいしかったですね〜 あ、おにぎりなくてすいませんでした。これはいりますよね。

でもやっぱり自然の中で食べるっていいですね。我が研究室の酒豪さんたちもすごいペースで日本酒空けちゃってました。幸せそうでした。

花火ではまたもやT原さんが恐ろしいほどのはげっぷりを見せてくださりまして、皆逃げるのに必死でした(笑)さすがです。

今回はお隣さんの生殖の方々も招待していたのですが、なんとこの日屋間に開催されたソフトボールの試合中思わぬ事故があり残念ながら来られませんでした…。それでも元チクメンバーの亀ちゃん東郷君(こちらはかなり終盤)、それから栄養からも数人来ていただきいつもとは少し違ったメンツでのパーティでした♪ (金島)



Department of Animal Husbandry Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

Tel: (+81)-75-753-6363

Fax: (+81)-75-753-6373

<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/>

GOAT BULLETIN

